

フォトリポーンによるキメと張り(skin texture)の改善



左写真は治療前、フォトリポーンを2回行ないましたが効果も副作用もゼロでした。その後、フォトリポーンを3回行って35日目が右写真です。

黄緑の内のシミでふたつの写真の位置関係を御覧ください。何ヶ所かのシミや赤みが消えて肌のキメが細くなり、引き締まって張りがでてきたのがはっきりと分かります。

しかし、黄色の内のシミを御覧ください。肌の透明感が増したために元々あった毛細血管が目立ってきています。このような目に見える血管を光美颜で消失させることは困難です。効果と限界を示す写真といえます。

文責者： 渋谷高橋医院 院長 高橋知之 (E-mail: Tomoyuki@Takahashi.MD)

本文は http://jps.ac/freyia/photoreborn/skin_texture/ の内容を印刷しやすいように編集したものです。当該ページからダウンロードできます。本文全体を印刷し配布することは御自由です。

ただし本文の一部を抜粋して引用あるいは配布することは文責者の許諾を得てください。